

地震防災対策用資産の特別償却の償却限度額の
計算に関する付表（措法44、旧措法44）

事業年度	・ ・	法人名	
------	--------	-----	--

地震防災対策用資産の区分	1	44 条 1 項 旧 44 条 1 項	44 条 1 項 旧 44 条 1 項	44 条 1 項 旧 44 条 1 項
(機械・装置の耐用年数表の番号)	2	()	()	()
地震防災対策用資産の種類等				
地震防災対策用資産の名称	3			
設置等した工場、事業所等の名称	4			
同 上 の 所 在 地	5	(号)	(号)	(号)
取 得 等 年 月 日	6	平 . .	平 . .	平 . .
事業の用に供した年月日	7	平 . .	平 . .	平 . .
購 入 先	8			
取 得 価 額	9	円	円	円
特 別 償 却 率	10	$\frac{9 \text{ 又は } 10}{100}$	$\frac{9 \text{ 又は } 10}{100}$	$\frac{9 \text{ 又は } 10}{100}$
特 別 償 却 限 度 額 (9) × (10)	11	円	円	円
償却・準備金方式の区分	12	償却・準備金	償却・準備金	償却・準備金
適 用 要 件 等	該 当 条 項	13 規 20 条 の 8 () 号	規 20 条 の 8 () 号	規 20 条 の 8 () 号
	その他参考となる事項	14		

特別償却の付表（九） 平十四・四・一以後終了事業年度分

特別償却の付表（九）の記載の仕方

- 1 この付表（九）は、租税特別措置法（以下「措置法」といいます。）第44条《地震防災対策用資産の特別償却》又は平成14年改正前の租税特別措置法（以下「平成14年旧措置法」といいます。）第44条《地震防災対策用資産の特別償却》の規定の適用を受ける場合（これらの規定の適用を受けることに代えて措置法第52条の3に規定する特別償却準備金として積み立てる場合を含みます。）に、地震防災対策用資産の特別償却限度額の計算に関し参考となるべき事項を記載し、該当の別表十六に添付して提出してください。
- 2 「地震防災対策用資産の区分1」には、措置法第44条第1項又は平成14年旧措置法第44条第1項のいずれの規定の適用を受けるものであるかの区分に応じ、該当条項を○で囲みます。
- 3 「地震防災対策用資産の種類等2」には、耐用年数省令別表に基づき、地震防災対策用資産の種類、構造、細目等を記載します。また、その地震防災対策用資産が機械及び装置である場合には、（ ）内に耐用年数省令別表第二の該当の番号を記載してください。
- 4 「地震防災対策用資産の名称3」には、地震防災対策用資産に該当する資産の名称を記載します。
- 5 「設置等した工場、事業所等の名称4」には、地震防災対策用資産の設置又は工事をした工場、事業所、店舗等の名称を記載します。
- 6 「同上の所在地5」には、地震防災対策用資産の所在地を記載するほか、その所在地が租税特別措置法施行令第28条の4各号の区域のいずれに該当するかに応じ、（ ）内に該当号を記載してください。
- 7 「取得価額9」には、地震防災対策用資産の取得価額を記載します。

ただし、その地震防災対策用資産につき法人税法第42条から第49条まで《圧縮記帳》の規定の適用を受ける場合において、圧縮記帳による圧縮額を引当金勘定に繰り入れる方法又は積立金勘定に積み立てる方法により経理しているときは、その繰入額又は積立額（繰入限度超過額又は積立限度超過額を除きます。）を取得価額から控除した金額を記載します。
- 8 「特別償却率10」の分子は、地震防災対策用資産を平成14年4月1日以後に取得等をした場合には「9」を、平成14年3月31日以前に取得等をした場合には「10」を、それぞれ○で囲みます。
- 9 「償却・準備金方式の区分12」は、その地震防災対策用資産につき直接に特別償却を行うか、又は特別償却に代えて特別償却限度額以下の金額を特別償却準備金として積み立てるかの区分に応じ、該当するものを○で囲みます。
- 10 「適用要件等」の各欄は、次により記載します。
 - (1) 「該当条項13」には、地震防災対策用資産が租税特別措置法施行規則第20条の8各号のいずれに該当するかの区分に応じ、（ ）内に該当号を記載してください。
 - (2) 「その他参考となる事項14」には、その資産が地震防災対策用資産に該当する旨等参考となる事項を記載してください。